

お手入れ

- 汚れは、柔らかい布などで拭き取ってください。
- ガソリン、シンナー、ベンジン、磨き粉、洗剤は、製品を傷めますので、使用しないでください。

- 月に1回は湿度コントローラー周辺、排気口付近及び電源プラグのホコリを掃除してください。ホコリがたまったままにしておきますと、性能低下や故障の原因となります。

故障かな?と思ったら

※通常、除湿動作中(連続運転時は常時)は運転ランプが『点滅』しています。

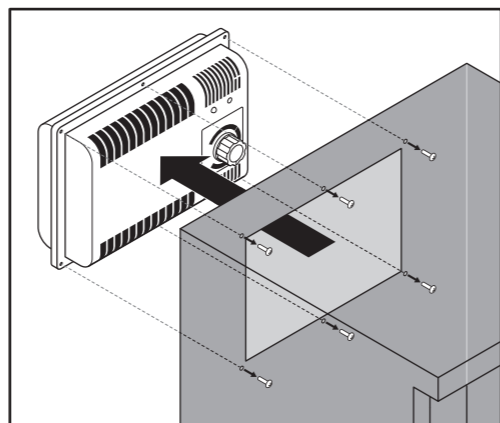
湿度が下がらない	電源プラグが抜けていませんか?	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	保管品を入れたばかりではないですか?	湿度が下がって安定するまで通常1~10日かかります。乾燥機としての能力はありませんので、収納する前に乾かしてください。
	設置場所に問題はありませんか?	3ページ[使い方]の『1.設置場所を決める』を参照してください。
	ダイヤル設定が高めになっていませんか?	湿度設定ダイヤルを低めに設定してください。
湿度設定と湿度計の値がズれる	扉の開閉が多くありませんか?	周囲の湿度が高い場合、一度扉をあけると湿度も上がります。しばらく(半日以上)様子をご覧ください。
	許容誤差範囲内ですか?	除湿ユニットと湿度計には、約±10%の許容誤差があります。
	冬の乾燥した時期ですか?	加湿機能が付いていませんので、周囲湿度が低くなりますと庫内湿度も設定湿度より下がってしまいます。
運転ランプが消えている	冷・暖房をしていませんか?	冷暖房による湿度変化や、昼と夜との温度差によって庫内湿度は変化します。
	電源プラグが抜けていませんか?	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
運転ランプがついたまま(点灯)になっている	庫内湿度が設定値まで下がっていませんか?	庫内の湿度が、設定値より低い場合は消灯します。庫内湿度が上がると点滅します。
	除湿ユニットのエラー	電源プラグを抜いて1分以上後に、コンセントに差し直してください。
臭いがする	使いはじめたばかりではないですか?	乾燥剤が色々な臭いの成分を吸い込んでいますので、乾燥剤を加熱した際に臭いが出ます。この臭いは、1~2日でなくなります。
湿度が一定にならない	周囲条件(温度・湿度)の変化がある	設定値より周囲の湿度が高くなると作動し、低くなると止まるため、設定値の前後で湿度は変動します。

除湿ユニットの取り外し方

修理や点検等で除湿ユニットをはずす時は下記の手順で行ってください。

- ①まず初めに電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②扉を開け、本体の内側から除湿ユニット周囲のねじを6本はずしてください。
- ③外側から除湿ユニットを支えながら、内側から押し取りはずしてください。

※取付けは逆の手順で行ってください。



ハクバ写真産業株式会社

本社：〒130-0014 東京都墨田区亀沢1-3-7
受注センター：〒486-0812 愛知県春日井市大泉寺町438-1

異常が発生したときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて弊社までご連絡ください。

お問合せ先 【受注センター】 TEL:0568(85)0898(代) FAX:0568(85)0899



電子防湿保管庫

E-ドライボックス

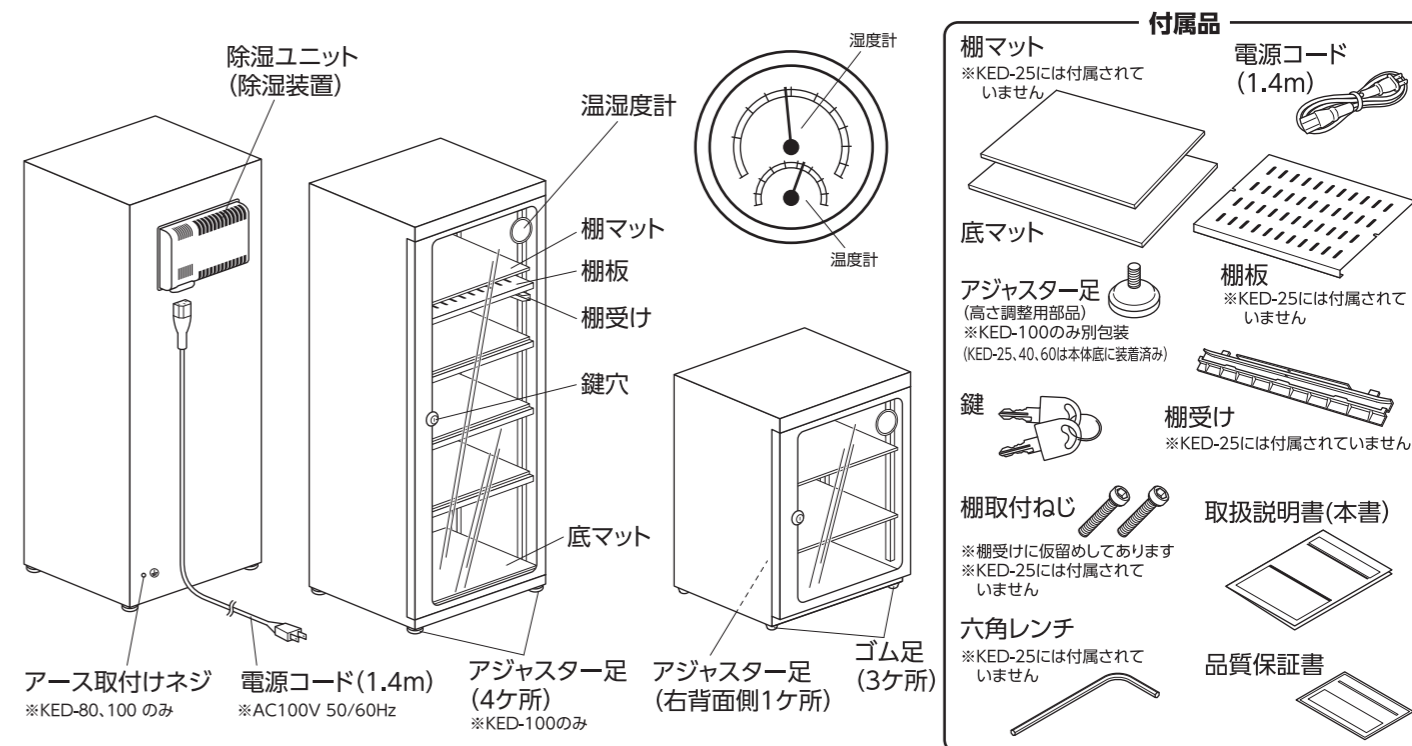
取扱説明書

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しく安全にご使用して頂くために、必ずご使用前によくお読みください。

KED-25 / KED-40 / KED-60 / KED-80 / KED-100

各部の名称 付属品

このページの[仕様]表の『付属品』の欄を参照して、付属品が揃っていることを確認してください。



仕様

型名	KED-25	KED-40	KED-60	KED-80	KED-100
内形寸法(mm) [容量]	W356×D310×H230 25ℓ	W356×D310×H360 40ℓ	W356×D310×H550 60ℓ	W356×D310×H750 80ℓ	W356×D310×H970 100ℓ
外形寸法(mm) (ゴム足を含まず)	W358×D315×H270	W358×D315×H400	W358×D315×H590	W358×D315×H790	W358×D315×H990
重量	約5.6kg	約8.5kg	約12kg	約18.8kg	約24.5kg
湿度方式	乾燥剤除湿方式				
キャビネット	スチール製 粉体塗装:黒				
扉	強化ガラス、マグネット式ガスケット				
定格消費電力	20W				
付属品	取扱説明書	1	1	1	1
	鍵	2	2	2	2
	棚	—	1	2	3
	棚受け	—	2	4	6
	棚固定ねじ	—	2	4	6
	六角レンチ	—	1	1	1
	棚マット	—	1	2	3
	底マット	1	1	1	1
	電源コード	1	1	1	1
	アジャスター足	1(装着済み)	1(装着済み)	1(装着済み)	1(装着済み)

●本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

Ver.N2

安全上の注意

誤った使い方をした時に生じる危険や損害の程度を区別して説明しています。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

- 警告** 誤った使い方をすると、死亡や重傷を負うおそれのある内容です。
- 注意** 誤った使い方をすると、怪我をしたり、財産の損害が発生するおそれのある内容です。

- してはいけない内容です。
- 必ずしてくださいという内容です。
- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 絶対に濡れた手で触れないでください。
- 分解、改造をしないでください。

警告

	○次のような場合は直ちに電源プラグを抜き、使用を中止する。 ・除湿ユニット内から煙が出ている。変なにおいがする。 ・除湿ユニット内に異物や水が入ったり、除湿ユニットを破損したとき。		コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外の電源は使用しない。
	電源プラグと差し込み口にはホコリが溜まるので、定期的に掃除する。		電源プラグは根元まで確実に差し込む。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。		電源コードを傷つけない、加工しない、引っ張らない、物を載せたりしない。
	電源コードを束ねて使用しない。		本体の上に乗らない、上に重いものを載せない、水の入った容器を上に乗けない。
	水のかかるところや湿度の多い所に置かない。		可燃性のある物や危険物、水を入れない。
	吸気口や排気口に異物を入れない。		分解、改造をしない。

注意

	本体を不安定な所に置かない。		エアコンや外気の風が直接当たる場所や、温度変化の激しいところ、直射日光の当たる所、ホコリの多い所に置かない。
	本体の裏面には2cm以上の隙間を作る。		長期間使用しない時は電源プラグを抜く。

使用上の注意

- ・本製品は加湿・乾燥機ではありません。多量の水分を含んだものを乾燥させたり、外気の湿度が低い場合に加湿することは出来ません。
- ・本製品に付属するカギは、不意に開くのを防ぐ為のものであり、盗難防止目的ではありません。盗難防止には別途措置を講じてください。
- ・付属する温湿度計は相対湿度を表示している為、庫内温度(室温)の変化によって庫内湿度も変化します。温度が上がると湿度は下がり、温度が下がると湿度は上がります。
- ・すでに発生したカビは除去できません。また、カビの発生防止を保証するものではありません。

※「安全上の注意」をお守りいただけなかった事により生じた損害や、目的外の使用により生じた損害について、当社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

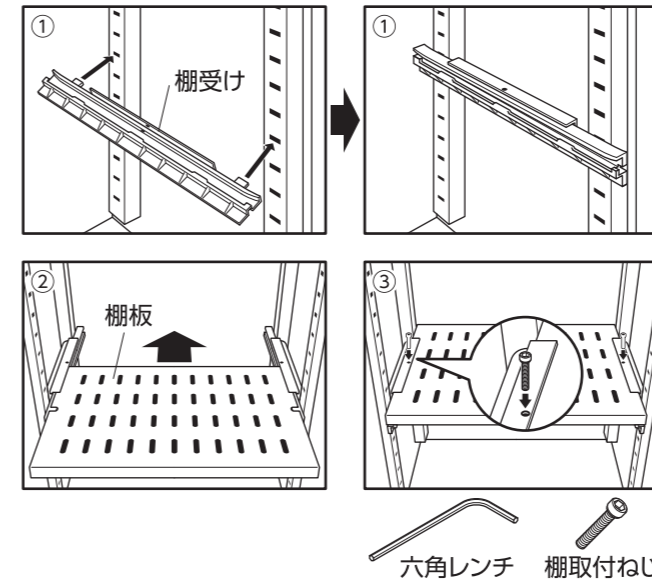
使い方

1. 設置場所を決める

- アジャスター足を底面に取付けてください。(KED-100のみ)
- 水平で安定している所に置いてください。
- 放熱の為、背面は壁から2cm以上隙間をあけて設置してください。
アジャスター足(右背面側1ヶ所※KED-100は4ヶ所)を回転させて本体を水平に調整してください。
- 次のような場所には置かないでください。
 - ・エアコンや外気の風が直接当たる所
 - ・熱器具のそばなど温度が上がる所
 - ・ホコリの多い所
 - ・直射日光の当たる所
 - ・油煙や湯気が当たる所
 - ・不安定な所
 - ・水気のある所

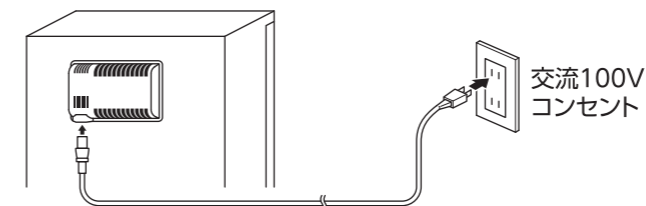
2. 棚板を取付ける

- ①棚受けを希望の高さに取付けます。(下図参照)
奥面上部に除湿ユニットがありますので、棚板が当たらない高さに取付けてください。
- ②取付けた左右の棚受けに棚板を差し込むように取付けます。
- ③棚取付ねじを六角レンチで回して棚板をとめます。



3. 電源プラグを家庭のコンセントに差し込む

- 電源コードを除湿ユニットの下側から差し込んでプラグを交流100Vコンセントに差し込みます。
- ※本製品に付属する電源コード以外を使用しないでください。

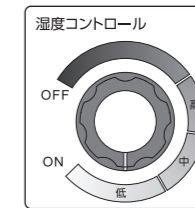


温湿度計について

- 温湿度計と除湿ユニットには、約±10%の許容誤差があります。
- 温湿度計は、扉を閉めて3~4時間経過後、安定してから目盛りを読んでください。

4. 運転を開始する

- 湿度設定ダイヤルをONにし、『連続運転』に設定します。空の状態でも半日程運転し、湿度が下がったことをご確認ください。空運転をしないで保管品を入れた場合、湿度が下がりにくくなる場合があります。
- 連続運転中は常に動作を示す赤いランプが『点滅』しています。



- 〈湿度設定ダイヤル〉
- ・ダイヤルを右に回すと低湿になります。
 - ・ダイヤルを左に回すと高湿になります。
 - ON…連続運転
 - OFF…電源「切」

5. 湿度を設定する

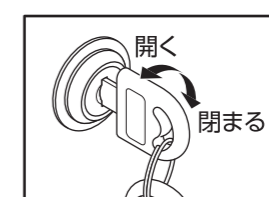
- 通常は中[標準]に合わせてください。
- 運転ランプが点滅して運転を始めます。(湿度コントローラーの設定湿度が庫内の湿度より低い場合)
- カメラ・レンズの場合は、30~50%RH前後が適しています。革や木を使用しているカメラは適する湿度が異なりますので、カメラメーカーに適する湿度をご確認のうえ、保管してください。
- 保管品の量や周囲の温度・湿度の条件によって同じ設定値でも庫内湿度は変わってきます。その場合は、設定値を調節してください。

6. 保管品を収納する

- 保管品を入れますと、保管品に含まれる水分の影響で一時的に庫内湿度が上がります。庫内湿度が下がって安定するまでに通常1~2日かかります(布類や紙類、ネガ・ポジ等を多量に入れますと、湿度が安定するまでに10日以上かかる場合もあります)。
- カメラやレンズのキャップは、密封性のあるものと湿気がこもったままになりますので、はずして保管してください。
- 保管品は保管する前に必ず清掃と点検を行ってから入れてください。使ったままの状態に入れますと、ホコリや汚れ、指紋、手あか等が原因で、低湿度であっても、まれにカビが発生することがあります。また保管中も定期的に清掃や点検を行ってください。

7. 鍵の開閉

- 鍵をヨコに差し込み、軽く押しながら右方向(時計回り)に90°回して閉めます。
- 開くときは、左方向(反時計回り)に90°回します。



除湿について

- 連続運転時は4時間サイクルで除湿動作を行い、加熱再生を約40分行います。このとき庫外シャッターが開き、乾燥剤に吸着した水分を庫外へ排出します。
- 湿度設定時は設定湿度まで下がると除湿動作を止めます。時間が経過して湿度が上昇すると再度除湿動作を始め、この繰り返しで湿度を制御します。さらに設定湿度以下に下がりにくい機構ですので、過度の乾燥を防ぎます。

- 加熱再生中は、庫外シャッターが開き、除湿ユニット及びその付近が温かくなりますが、異常ではありません。